

～ ふるさと日本民謡の音楽と文化～ (305回)

『ガリバー旅行記』に、“死にたくも死ねない国”があります。

ガリバーは、日本に三度、来日していることから、“死にたくも死ねない国”は日本のようです。
今、行方知れずの100歳以上の高齢者が神戸市だけで105人いることが判明、全国大となると相当数になるのではないかと皮肉にも『ガリバー旅行記』と重なってしまいます。

『檜山節考』の「姥捨て山」も悲惨なことだと思っておりましたが「姥捨て山」には“心”がありました。

親の行方も追跡しない今の核家族からは親孝行は死語となり、“心”など皆無である。

広島・長崎に物理的に投下された原爆の核は、止まることなくいつの間にか村社会の社会秩序から企業組織へと忍びより憩いの場である家庭は核家族、自分勝手な核分裂は家族崩壊で各々バラバラ状態。そんな中であって、山紫水明の風土から生まれた日本独特の文化である「民謡」が息づいて残されていることは救いである。いつ聞いても落ち着いた気持ちになれるのは「民謡」の良さだと思います。

今月の講師は、3800曲にも及ぶ民謡を収集、各地域に民謡文化を流布、研究を続けておられる「出家 功一（でいえ こういち）」先生からお話を聞ける機会をえました。

盛りだくさんな資料と ♪江差追分♪ など「民謡」ご披露付きでご講演をいただきます。

家族共々のご参加を期待しております。

記

1. 日 時 : 平成22年8月22日 (日) AM10時 ~ 12時 (注意: 時間変更してます)

2. 場 所 : 平山建設(株) 会議室 (6F) 電話0476-23-1111
成田市花崎町795

<交通案内> 京成成田駅東口徒歩5分、JR成田駅徒歩8分 駐車場有り。

3. 会 費 : 1000円

4. 演 題 : ~「ふるさと日本民謡の音楽と文化」~

5. 講 師 : 出家 功一 (でいえ こういち) 先生

<プロフィール> 1943年 広島県呉市生まれ

1967年 広島商科大学(現 広島修道大学)にて、近代経済成長理論を学ぶ

1967年 東洋熱工業(株)に入社、マーケティングと経営企画を担当、5000億円の空調工事を受注。

2003年 (株)ユニットライフ他数社の顧問。

2010年 グリーンキャップ(株) 特別最高顧問に就任

<活動>

1968年 日本民謡の資料調達(約 3800曲) 収集しながら各地域にて民謡関係者と民謡文化の啓発に努める。

1976年 早稲田大学にて「セールス・フォース・マネジメント研究会」を設立、今日に至る。

<レジュメ> 演題: ~「ふるさと日本民謡の音楽と文化」~

1. 日本民謡の特質

2. 日本民謡の分類 町田由声 日本民謡の分類

3. 民謡 東と西(中国の唄、謡、唄)

4. 民謡アラカルト 歌い方、覚え方、上達法

・日本の民謡(日本音楽の分類) 杜氏歌詩(酒造り唄) 伊勢音頭 琉球民謡

・千葉県の民謡・座頭と津軽三味線(津軽の方言) (東北地方の家族と個人) 他

・江戸時代の交通 めくら女道

・日本酒の理解を深めるため



川柳 : 踊らねば損と 踊った 阿波踊り 香呂